理事会議事録

平成24年度第2回　　　平成24年10月22日（月）20：00～21：00

**1.国外留学助成金審査**

学術局による一次審査を通過した岩城琢磨先生（平成14年卒）の申請に対し、理事会による二次審査が行われ、助成額が決定した。

**2.新規の学外評価委員の推薦について**

制度が開始されて8年が経過し、学外評価委員が、退任、辞退、物故などで減少したため、前回の理事会の決定を受け新規の学外評価委員の推薦を募集したが、指定期日までに新規の推薦が無かった。大きな負担となる評価を無報酬でお願いすることは非常に難しいためと考えられる。25年度学術助成金については、評価委員は現在のままで、研究助成の募集をさせていただくこととなった。ただし、数が減ることで評価委員の負担が更に大きくなってしまうため、初期の定数に戻すことが望ましく、時間をかけても継続して推薦を考えてほしいと大森学術局長から再度の呼びかけがあり、拍手で理事の賛同があった。

**3.第8回学術助成金の再審査**

執行部の高橋会長から、8月の理事会で受賞者が決定した後に、審査におけるテクニカルなヒューマンエラーが判明したため10月の理事会で再審査が実施されることになった経緯の説明と、受賞対象に対する提案及び今後の対策が提案された。

再審査の結果、研究助成金制度の目的に鑑みて、今回の研究助成金部門に限り特別ルールとして2名に交付することが決定された。また、ヒューマンエラーの再発防止策が検討され今後の学術助成金制度運営の際に反映することになった。更に、原則的に理事会の決定事項は変更しないこと、ただし、応募者によらない明らかな事故があった場合には理事会に諮り再審査を行う等、柔軟に対応する余地を残すことが決まった。

**4.名誉会員推薦の件**

24年３月に退官された平島光臣先生の名誉会員就任が満場一致で承認された。